

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2375000250
事業所名	サポートハウス東名ながくて

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2）	評価
	地域の秋の祭りやコミュニティーセンターで行われた餅つきに参加するなど地域交流を深めている。また、11月には地域防災訓練にも参加予定である。運営推進会議で開催された講習会には、地域住民の参加が得られている。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3）	評価
	運営推進会議は利用者、民生委員、包括支援センター職員、長寿課職員等の参加で二カ月毎に実施され、ホームの活動や利用状況を報告し、活発な意見交換が行われ、参加者の気付きが支援に活かされている。会議の際に消防署員による応急手当講習会が開催され、地域住民の参加も得られ講演と実技演習が行われている。	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4）	評価
	市主催の敬老会に利用者は参加し、その際の作品展に今年度は折り紙を出品している。長寿課主催による事業所巡りでは、一般の人の見学会が来年3月ホームでも実施される。包括支援センターとは生活保護の利用者の件で、協力関係が図られている。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6）	評価
	家族来訪時や電話連絡の際に意見、要望が聞けるような対応に心掛け、出された意見、要望は速やかに改善出来るように努めている。家族には毎月「サポート通信」を送付し、写真により日頃の様子を伝えている。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	認 事 項
2. 事業所と地域とのつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
総合評価	○	○	○	○	○	◎	○				